

健康 わんだーらんど Wonder Land



健康増進センター広報誌『健康ワンダーランド』です。今回は“コロナワクチン接種”について取りあげてみました。

「医療従事者を対象に新型コロナウイルスワクチンの副反応調査を行いました。」 佐世保中央病院 健康増進センター 保健師 田口 久美子

新型コロナウイルスの感染収束がなかなか見えない状況が続いていますが、一方ではワクチンによる重症化の予防効果なども報告されています。現在は、2回目の接種完了後6ヶ月以上経過した方から3回目のワクチン接種の準備もされています。

ワクチンによる副反応に関する報告を、メディア等で情報を目にする、耳にすることも多いことと思います。今回は、当センターで行った新型コロナウイルスワクチンの副反応調査について紹介いたします。今後、皆さんがワクチン接種をされる際のご参考にしていただければと思います。

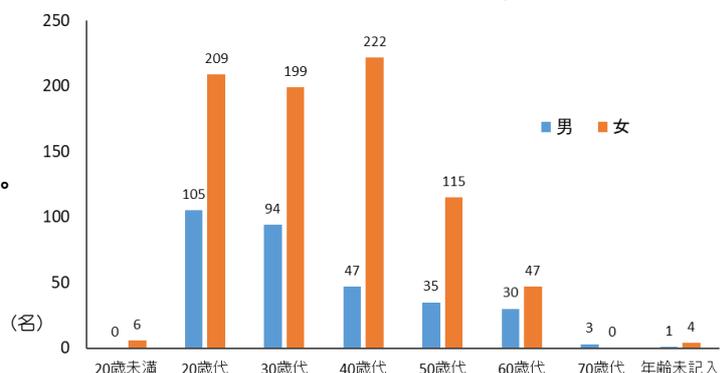
1. 調査対象者

佐世保中央病院と関連病院である耀光リハビリテーション病院の職員1,117名(2回目1,104名)です。使用したワクチンは、ファイザー製のコミナティです。

性別： 男性 315名 女性 802名

平均年齢： 男性 38.2歳 女性 39.0歳

調査対象者の性別・年代別の内訳



2. 接種後副反応

①アレルギー反応

接種時のアレルギー反応は、1回目1.0%、2回目0.5%の方に発症しました。いずれも軽微で、抗アレルギー剤(オロパタジン塩酸塩錠)の投与により対処可能でした。2回目でアレルギー症状の出現者が減ったのは、1回目で症状が出現した方に対し、2回目の接種時は事前に抗アレルギー剤を投与した効果と思われる。アナフィラキシー反応が生じた方はいませんでした。

②発熱(37.5℃以上の発熱または発熱を自覚した方)について

接種1回目で4%に発症し、接種2回目では44.2%と増加しました。殆どの症例は、アセトアミノフェン(カロナール)で対処可能でした。発熱(発熱に伴う付随症状もあり)が数日間持続し、医療機関の受診を要した方を1名認めました。

③頭痛について

接種1回目で10.6%、2回目で37.4%でした。殆どの方が発熱に伴う頭痛であり、アセトアミノフェン(カロナール)の服用で対処可能でした。

⇒ 次ページへ

④接種部位の疼痛

接種1回目で74.8%、接種2回目で64.9%に出現を認めましたが、いずれも一過性でした。一部で非ステロイド性抗炎症薬(ロキソプロフェン)を使用した方がいましたが、多くはアセトアミノフェン(カロナール)で対処可能でした。

⑤消化器症状・呼吸器症状・循環器症状

消化器症状は、1回目で1.5%、2回目で7.1%にみられましたが、いずれも一過性で、接種当日また翌日には症状は軽快されていました。呼吸器症状は、1回目で0.3%、2回目で0.2%にみられましたが、いずれもワクチン投与による喘息誘発などの直接作用よりも心因性反応と考えられ、数分後には改善し、医学的処置は不要でした。循環器症状は、1回目で0.3%、2回目で0.4%にみられましたが、いずれもワクチン投与による直接的な作用よりも心因性反応と考えられ、数分後には改善し、医学的処置は不要でした。

⑥性差について

男性、女性のどちらにも80%以上の方に何等かの副反応が生じていましたが、性差での比較では、特に女性に副反応ありと報告された方を多く認めました。重症度の性差については、重症事例がなかったため、検証できていません。

副反応症状の出現率と要医療率について

副反応の症状		出現率(人数)	要医療率(人数)
アレルギー症状	1回目	1.0% (11名)	0%
	2回目	0.5% (5名)	0%
アナフィラキシー	1回目	0%	0%
	2回目	0%	0%
発熱	1回目	4.0% (44名)	0.1% (1名)
	2回目	44.2% (487名)	0.1% (1名)
頭痛	1回目	10.6% (115名)	0%
	2回目	37.4% (413名)	0.1% (1名)
注射部位などの疼痛	1回目	74.8% (815名)	0.1% (1名)
	2回目	64.9% (716名)	0%
吐気・嘔吐などの消化器症状	1回目	1.5% (17名)	0%
	2回目	7.1% (78名)	0.1% (1名)
呼吸苦などの呼吸器症状	1回目	0.3% (3名)	0.1% (1名)
	2回目	0.2% (2名)	0.1% (1名)
動悸・血圧症状などの循環器症状	1回目	0.3% (3名)	0.1% (1名)
	2回目	0.4% (4名)	0.1% (1名)

3. 「接種ストレス関連反応 (ISRR:immunization stress-related responses)」

上記で紹介した消化器症状、呼吸器症状、循環器症状の多くは、心因性反応によるものと考えられました。予防接種では、どのワクチンにおいても少なからず副反応の報告がされています。その要因は、ワクチンに含まれる成分による身体的反応やワクチン接種時の注射手技による要因などがあります。加えて、接種にまつわる「不安」や「恐怖心」「緊張」による心因性のストレスから生じる反応もあることが知られています。

⇒ 次ページへ

そこで、WHO(世界保健機構)は、2020年に「接種ストレス関連反応(ISRR:immunization stress-related responses)」という概念を提唱し、これに関わるストレス反応をできるだけ除くようにする、発症したとしてもそれによる健康障害を最小にすることによってワクチン接種の安全性を高められるとされています。この反応は、予防接種前、直前直後(接種5分以内)の急性反応あるいは接種後時間を経た後の遅発反応として起こるものがあり、集団的接種では特に生じやすいとも言われています。よって、ワクチン接種を受ける場合は、なるべくリラックスした状態で受けることが望まれます。そのためには、過度の情報に惑わされず、ワクチンに関する不安や疑問は、事前に専門医(かかりつけ医や接種当日の予診票確認を行う担当医など)へ相談し、解決しておくことも大切です。今回の調査では、一般的な発熱や頭痛、注射部位の痛みなどの多くは、アセトアミノフェン(カロナール)などの鎮痛剤でコントロールが可能でした。こういった副反応に対し、事前に薬剤を準備しておくことも安心して接種することに繋がります。

ワクチンの接種会場は、多くの方が来られており、いつもと違った雰囲気です。少し緊張しやすいかもしれませんが、ワクチン接種に出かける際は、接種受診券・予診票などの必要書類を事前に記入し、お薬手帳などの準備をしておくこと、出かける時に必要なマスク、ハンカチなどの衛生物品、携帯電話、水分補給用の飲み物なども準備しておき、慌てないようにしておくことで、気持ちの余裕も生まれます。なるべく自分がリラックスできる状態を整えられるよう、ゆったりとした服装で出かける(体を締め付ける窮屈な服装を避ける)、経過観察時間の過ごし方として、心地よい音楽を聴く(イヤホンを使用して)、好きな本を読むなどの準備をされていくことも推奨されます。

◆当センター・ラウンジ内は 無料 Wi-fi が使用できます！

当センターでは、コロナウイルス感染蔓延を鑑み、一昨年より雑誌および新聞の設置を自粛させていただいています。

そのため、待ち時間にご自身の携帯機器であるスマートフォン、タブレット、パソコンなどが使用できるよう Wi-Fi環境を整えました。但し、使用时には、下記の注意点について、遵守いただきますよう、お願い申し上げます。



※パスワードは施設内に表示しています

【携帯機器】使用時の注意点について

- ご使用にあたっては、他のご利用者へ迷惑にならないよう、マナーモード に切り替え操作音を消して ご利用ください。
- 当センター外へ移動する際は、携帯機器を更衣室のロッカーへお戻しください。センター外には、「持込禁止区域」があります。また、携帯機器の紛失、破損、故障に繋がり兼ねませんので、ご了承ください。

佐世保中央病院 健康増進センター 基本理念と基本方針

【基本理念】

受診者の健康を支援し、活力のある地域社会の実現に貢献します。

1. 生活習慣病の早期発見と予防の啓発に努め、健康の維持・増進をサポートします。
2. 検査技術や診断機器の精度向上を常に心がけ、質の高い健康診断を提供します。
3. 健康診断や保健指導を通して、受診者のライフスタイルを考えた継続的な支援を行います。
4. すべてのスタッフが相互に協力・連携して、受診者の皆様に満足いただけるサービスを提供します。
5. 健康診断業務で得られた個人情報の守秘義務と、受診者ご自身の知る権利を遵守します。

健康増進センター 診察担当医

	月	火	水	木	金
午前診察	常勤医 : 中尾・寺園 非常勤医 :	元永・石嶋			
午後診察	※ 毎日2~3名の医師が担当いたします				
婦人科検診	石丸	石丸	石丸	石丸	石丸

健診に関するご予約・お問い合わせについて

☆健診をご希望の方は、**完全予約制**になっておりますので、健康増進センター窓口にお越しいただくかお電話でのご予約をお願い致します。

○お問い合わせ時間

月～金曜日 9:00～12:00 13:00～16:00

○休診日 土・日曜日、祝日 8月14日～15日（夏季） 12月30日～1月3日（年末年始）

【健康増進センター直通】

電話番号 (0956)33-5335

FAX番号 (0956)33-5336

メールアドレス sch-kenkoh@hakujujikai.or.jp

*ただし、メールでのお申し込みは受け付けておりません。



編集後記

新型コロナウイルスの終息への出口が未だ見えず、長い期間、不安な毎日をお送りのことと拝察いたします。くれぐれも、日々の健康管理にはご注意ください。

さて、本号ではコロナワクチン接種の副作用について、担当保健師から情報提供を行わせていただきました。ご参考いただければ幸いです。

次回発行日は、本年5月を予定しています。どうぞご期待ください。

